

# 女子高校生における学業的自己概念と学力の因果関係の検討 —3 年間の縦断データから—

○宮本友弘 (東北大学)

相良順子 (聖徳大学)

キーワード：女子高校生, 学業的自己概念, 学力

## 問 題

学業的自己概念 (academic self-concept, 以下 ASC) と学力の間には正の相関があることは、国内外の研究で一貫して示されてきた。しかしながら、両者の因果関係については十分に明らかにされていない。この点について、Marsh(1990)は、公立高校 10 年生時～卒業 1 年後までの 4 時点の縦断データを SEM で分析し、ASC が学力に対して因果的に優位であることを示唆している。日本ではこうしたアプローチの研究は見当たらない。

一方、女子高校生は同じ学力水準であっても男子よりも理数系科目の学業的自己概念を過小に評価する傾向にある(鷹島, 2014; 古田, 2016)。Marsh(1990)の主張が正しいとすれば、女子高校生の ASC の過小評価は学力の低下を招き、その後の進路選択にも重大な影響を及ぼしかねない。

そこで、本研究では女子高校生から収集した高校 1 年～3 年までの縦断データを利用して ASC と学力の因果関係を検討する。

## 方 法

**調査対象** 私立の女子高校 201X 年度と翌年度の入学者のうち 3 年間在籍した 162 名と 136 名を対象とした。理系 65 名、文系 202 名、不明・その他 31 名であった。

**学力の測定** 調査協力校で毎年実施されている標準学力テストの国語、数学、英語の成績(全国を基準とした偏差値)を使用した。

**ASC の測定** 質問紙法によって国語、数学、英語について「どのくらい得意か」を 5 段階で尋ねた。3 年間、毎年 7 月に担任を通じて実施した。

なお、本研究は、第二著者が所属する聖徳大学の「ヒューマンスタディに関する倫理審査委員会」の承認を得て実施した。

## 結 果

**3 年間の ASC の変化** 各教科の ASC について理系・文系×学年による分散分析を行った。Figure 1 の通り、いずれの ASC も学年による有意差はなく、国語では文系が理系よりも、数学では理系が文系よりも一貫して有意に高かった。英語では理系・文系の有意差は認められなかった。

**ASC と学力の相関** 理系・文系別に各教科の 3 年間の ASC と偏差値の相関を求めたところ(Table 1)、理系の国語の 1, 2 年生時以外はすべて正の有意な相関が見られた。

**ASC と学力の因果モデルの検証** Marsh(1990)

に基づき作成した ASC と学力の因果モデルを SEM で検証した。その結果、文系・数学でのみ、十分な適合度を得られた。Figure 2 に示した通り、1 年の ASC から 2 年の偏差値、2 年の ASC から 3 年の偏差値へのパス係数が有意であった。成績から ASC へはそうした有意なパスは得られなかった。

## 考 察

文系の数学だけではあるが、Marsh(1990)の主張を支持する結果が得られた。すなわち、高校 3 年間を見通した場合、1 年生時の ASC を促進することが 3 年生時の学力を向上させる可能性がある。ASC は 3 年間比較的安定していることから、1 年生時における援助の在り方が鍵を握る。

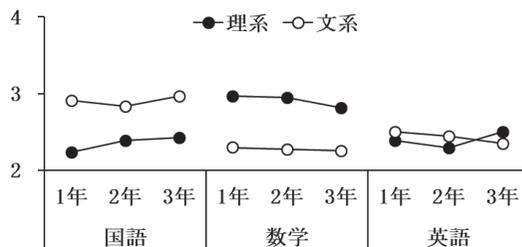
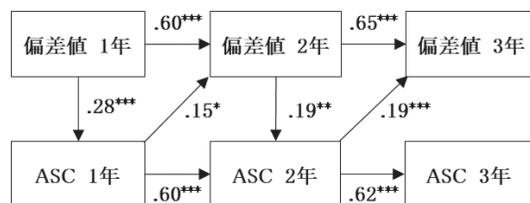


Figure 1 3年間の ASC の変化

Table 1 偏差値と ASC の相関

|    |    | 1年     | 2年     | 3年     |
|----|----|--------|--------|--------|
| 理系 | 国語 | .114   | .047   | .263*  |
|    | 数学 | .447** | .457** | .358** |
|    | 英語 | .490** | .353** | .685** |
| 文系 | 国語 | .351** | .228** | .200** |
|    | 数学 | .250** | .358** | .292** |
|    | 英語 | .493** | .472** | .225** |

\* $p < .05$  \*\* $p < .01$



$\chi^2(7)=10.50, p=.16, GFI=.979, AGFI=.937, CFI=.991, RMSEA=.056$   
\* $p < .05$  \*\* $p < .01$  \*\*\* $p < .001$

Figure 2 文系・数学の SEM の結果(誤差変数は省略)  
付 記

本研究は JSPS 科研費 JP26380949 の助成を受けた。